

宮崎第一高等学校

## 『第66回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール』 (結果報告)

令和元年10月15日(火)。各地方大会を勝ち抜いた25名の高校生が国連大学(東京都渋谷区)に集い、6分の持ち時間を使って国際理解・国際協力に関するスピーチを行いました。本校からは宮崎県予選に相当する小村寿太郎侯顕彰弁論大会(8月開催)を勝ち抜いた、文理科1年1組の仲本愛さん(宮崎第一中出身)が宮崎県代表として参加しました。仲本さんはカンボジアで自身が体験したことや支援活動の経験をもとに、「教育の重要性」を力強く堂々と訴えました。惜しくも入賞は逃しましたが落ち着いて堂々としたスピーチが印象的でした。仲本さんは今後も引き続き支援活動などを継続していき、来年度以降もコンクールへ挑戦したいとのことでした。



会場の国連大学



演台で練習する仲本さん



スピーチ終了後の  
集合写真